

進んでいます。男女平等教育。

学校では、出席簿や、学習評価はすべて男女別でした。

私達は、男女別が当たり前だと思っていましたが、世界でも男女別の名簿は、日本くらいのもので、ほとんどの国で、混合名簿です。男が先、女が後という呼ばれ方は、小さい時から、女は男より

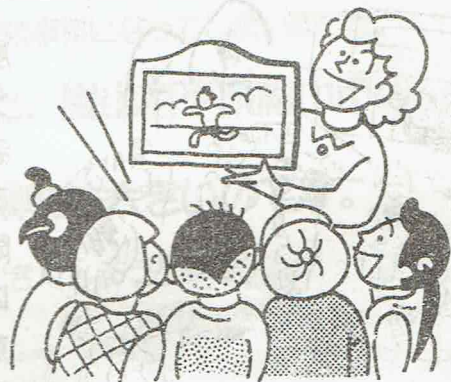
おとっているという無意識を植え付けるので、問題になっています。嵐山町の

女性行動計画においても

男女混合名簿の推進は課題のひとつでした。先生達も、男女別の名簿は、無意識に子どもを子どもの個性よりも「男」「女」として試みる事が多く

子どもに潜在的に固定的な男女別役割を植え付けるといわれていました。

この1月から、町内小中学校で、朝の健康観察は男女混合名簿で行われるようになりました。



卒業式なども、混合で行われるように期待しています。



女性への暴力の対応を

県レベルで考えたい!

3月定例議会 16日
5日~19日です。

一般質問は

17. 18. 19日

議案は

★平成11年度予算

★図書館備品購入

★地方分権を進めるための

埼玉県人づくり広域連合制定

★町長等の報酬の減額など

夫から妻への暴力や児童虐待が、最近報道されています。

東京都の調査では、30%の女性が夫や恋人から、何らかの暴力を受けていると回答しています。

2月21日、埼玉県彩の国女性フォーラムで、

「夫、恋人からの女性への暴力」のワークショップで協議しました。夫、恋人の暴力は犯罪だという認識がない。

市町村にも暴力の相談窓口がありません。

男は女を支配できるという感覚が暴力につながります。

家族間の暴力は親から子に連鎖していきます。

行政、市町村行政、警察、弁護士会の連絡が必要です。

埼玉県の女性議員達とこの問題を考えていきます。